

ついでまつ
出雲平野における築地松景観の保全活動

[応募者] 氏名：築地松景観保全対策推進協議会 会長 野津邦男（出雲市助役）/住所（勤務先）：島根県出雲市今市町109-1 /勤務先名：事務局 出雲市役所 まちづくり推進課
連絡先（勤務先）：TEL(0853)21-6741 FAX(0853)21-6529 Email:machizukuri@city.izumo.shimane.jp

●応募理由

出雲平野における屋敷林は「築地松」と呼ばれており、冬季の日本海からの強い季節風や火災を防ぎ、築地松の下枝を燃料として蓄える機能を持っているが、こうした祖先の知恵を伝承し、稲作を中心とする出雲平野における散居集落景観を後世に伝えていく取り組みを島根県・出雲市・斐川町及び両市町住民で組織する協議会で行っており、地域の住文化を保全、保存、活用してきていることから応募するものである。

●作品または活動の概要

①事業主体 築地松景観保全対策推進協議会

（平成6年5月、島根県・旧出市・旧平田市・旧大社町・斐川町及び関係各市町住民による構成で組織）

②活動概要

○住民協定の締結：一定の区域の住民に協定を締結してもらい、築地松の維持保全意識の高揚を図る（特定協定70、一般協定83 H18.3時点）

○普及啓発活動：情報誌「ついでまつコミュニケーション」発刊、ホームページ作成

○築地松助成制度：剪定、枯松伐倒及び新植・補植、松くい虫防除に対し助成（特定協定者8万円上限、一般協定者5万円上限）

○陰手刈り（のうてごり）職人の育成：築地松を芸術的な形態に剪定する専門職人を育成するため研修会を開催



築地松のある屋敷/屋敷の北側や西側を黒松で囲み防風や目隠しの役目を果たしている

●作品または活動の特色

出雲平野における農村の生活文化に根ざした築地松を保全し、散居集落景観を後世に伝えるため、住民協定や広報活動により意識啓発を図っている。また、築地松の維持管理費の助成制度を設けたり、陰手刈りという専門職人を育成することにより、築地松の公共的価値を見出し、築地松のあるまちづくりを推進してきている。



築地松の剪定をする陰手刈り（のうてごり）職人/高所での築地松の剪定は手間と危険を伴う作業です



築地松の剪定をする陰手刈り（のうてごり）職人/職人の勘と技で芸術的な形ができあがります



情報誌「ついでまつコミュニケーション」/築地松景観をアピールするため情報誌を発行しています



PR誌「築地松見どころマップ」/出雲平野の築地松を体感できる見どころを紹介しています